

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～28 台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の54%（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり973kgの水揚げ（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり43kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.9トンの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。

定置網----対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり195kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり331kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり138kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり19kgの水揚げ（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/10～7/12の3日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島北西沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、3日延6隻、総計325箱、1航海最高84箱、平均54.2箱。スルメイカ（20～40入・バラ）311箱、ケンサキイカ（3～3立半）14箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>